

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

令和 4 年 2 月

いきもの語り (重症児デイ オハナ・重症児ディアモ)

チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点や改善すべき点
事業所の設備等の設備について、バリアフリー化の配慮が適切に行なわれている	22	1		車椅子の対応のエレベーターやトイレ、手すりなど工夫されている。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	23			月1回の事業所内研修やコロナ禍の為、ZOOMでの研修に多数参加している。
活動プログラムが固定化しないよう工夫している	23			一か月分のプログラムがカレンダーに一覧化され、固定化を予防している。外部の講師による音楽療法やボランティアのアロママッサージ、リンパマッサージ、絵本の読み聞かせなどで楽しんでもらっています。
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	23			朝の常勤ミーティング、非常勤が来てからの昼ミーティングを行っている。 ラインworksで職員全員に情報を共有している。
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	23			カルテ記入用紙も見やすくわかりやすいよう改善した。 記録を振りかえり、ケース会議を行い支援の検証、改善につなげていく。個人のカルテは毎回記録し、いつでも閲覧できるようになっている。
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	23			事業所に来ていただいた際の面談や、連絡帳でのやり取り、毎回の送迎時にお話しをさせてもらっている。ラインでの連絡も密に行っている。
下校時の子供の様子などを学校との情報共有ができていますか	20	2		学校迎えの時に一人ひとりの様子を聞くようにしている。支援で分からないことなど情報を聞いている。
個人情報に十分注意している	23			定期的に職員にリスクマネジメントについてチェックしている。
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	23			年度はじめにスタッフ、保護者に配布している。避難訓練も年2回、緊急時対応の研修も行いよりよい対応ができるよう努めていく。
ヒヤリハット・アクシデントをスタッフ間で情報共有できている	23			すぐに情報を共有するとともに全体ミーティングでも問題点の話し合いを行っている。 用紙に記入しミーティングでも伝えている。ファイルにまとめてあり、いつでも閲覧できるようになっている。ラインworksでの情報共有も行い、スタッフ全員確認している。



